

## 「お客様だけのオーダーメイド不織布」をつくる

— きめ細やかな対応でニッチな高付加価値品を提供 —

出光ユニテック(株)営業部営業三課課長 池田 学

### ニッチな要求に対応する不織布メーカー

出光ユニテックの不織布部門にとっては、ANEX2006が展示会出展のデビューとなる。

出展を決意させたのは昨年上海で開催されたSINCE 05の見学である。当展示会を見学した際、「もしこの展示会に出光ユニテックが出展し、われわれが特定パートナーの方々と開発した特殊不織布を展示したら、来場者の方々は必ず驚いてもらえるだろう」という確信をもったからである。

これは、SINCE05に出展した企業より当社の方が技術面・生産能力面で優れているという優越感をもったからではない。むしろ世界を代表する有力な不織布関連企業がこぞ出展しており、その内容も大変充実したもので、圧倒されたという印象が正直なところだった。

しかし、2,000t/年程度の生産能力しかもち合わせないメーカーである当社が目指すような「変わり種」(ある意味では“オタク”)の不織布メーカーがSINCE 05では見当たらなかったのである。

帰国後すぐに関係者と打ち合わせ、その決意を基に役員承認を取り付けるまでに1週間とかからなかった。では、来場者はわれわれの何に驚いていただけると私が確信をもったのだろうか。

その答えを以下に述べる。

### 「お客様だけのオーダーメイド不織布つくります！」がキャッチフレーズ

ANEX2006の出展目的は、大きく3つある。

1つは、出光ユニテックの不織布事業は、今回のキャッチフレーズ「お客様だけのオーダーメイド不織布つくります！」でわかるように、単なるスパンボンド不織布メーカーではなくスパンボンドをベースにした「オーダーメイド不織布加工メーカー」であることを知っていただくこと。

2つ目は、独自性をもたせた特殊樹脂スパンボンド不織布および複合不織布の商品アイテムが仕上がりに、広く来場者に知っていただくこと。

3つ目は、新しい分野・技術・商品とともに開拓していただけるパートナーと出会いの場にしたいということである。

以上のように、当社の不織布事業はPPスパンボンド不織布換算で生産能力が年間2,000t程度では、スパンボンドメーカーとしてはかなり小規模であるが、コンパクトであるからこそ小回りが利き、それぞれのお客様に見合った商品をご提供できるということをANEX2006で世界に発信したいと考えている。

### 伸縮・複合・遠赤外線・抗菌・防ダニ・フィルムタイプの幅広いラインナップ

この記事を読まれている方のな



池田学課長

かにも、現在こんな樹脂を用いた不織布を探している、このフィルムと熱ラミネートしてほしい、この薬剤を練り込んでほしいなど、具体的にテーマはあるがどのメーカーに依頼すればよいか悩まれている方もおられるかと思う。

この種の悩みを是非、われわれのブースにてスタッフに相談していただきたいと考えている。

また、お客様の新規商品について、イメージが閃いていただけるよう、この数年に特定パートナーと技術開発・市場開拓してきた商品を展示したいと考えている。

商品群の一部を紹介させていただくと、絆創膏(写真1)やパップ材を中心としたメディカル分野向けの伸縮性スパンボンド不織布“ストラフレックス®”については、ポリアミド系とポリオレフィン系の2グレードを展示、複合不織布“ストラマイティ®”(図1)については、(株)黒沢と共同開発したナイロンフィルムタイプの石灰乾燥剤用包材(写真2)や、自社PPフィルムに孔あけ加



写真1 メディカル分野向けの伸縮性スパンボンド不織布“ストラフレックス®”を使用した絆創膏

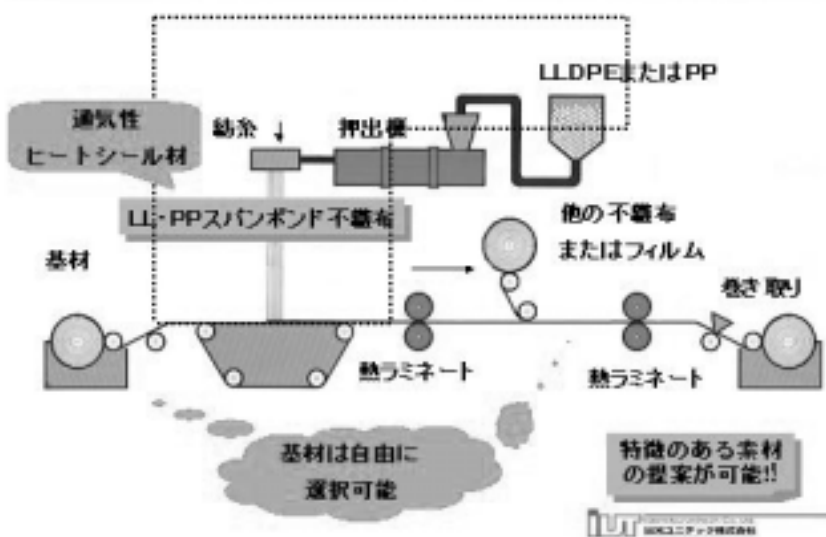


図1 複合不織布“ストラマイティ®”

工し、PPスパンボンドと熱ラミネートした微粉末対応グレードを炭袋の形で展示することを予定している。

併せて、当社の看板商品である再封用チャックテープ“プラロック®”とPPスパンボンド不織布“ストラテック®”を組み合わせた製袋品(写真3)や、参考出展として丸和バイオケミカル(株)・倉敷繊維加工(株)と開発中の生分解性不織布、天然鉱物を練り込んだ遠赤外線効果を有する不織布“ストラフレスコ®”の展示もANEX2006に向けて準備中である。

なかでもストラフレスコ®は、岡山県にある(株)ミスモ加工との取り組みにより開発中であるが、遠赤外線効果により人体の体温が約1℃上昇する結果が第三者機関の検査で明らか

になり、寝具・マスク・エステティック・農業・住宅といった各分野での広がりを期待しているとともに、鮮度保持分野での展開も模索中である。

このほか、防ダニ・抗菌剤を練り込んだ“ストラガード®”や、衛材分野向けに東レセハン社にライセンスしている柔軟不織布などの展示も行い、できる限り広い分野の方々にご来場いただきたいと考えている。

### コラボレーション・パートナーを探す

日本経済が回復基調に入ったとはいえ、原油・ナフサの高騰に伴うPP原料を中心とした石油化学原料の急激な値上がりに対し当社もさらなる製造の合理化などを進めてきた

がすでに限界にきており、汎用PPスパンボンド不織布の原料価格アップ分の一部をすべての取引先にお願ひし、ご理解をいただいているのが現状である。

06年度も厳しい状況は依然として続くと思っているが、これまで培った技術開発のノウハウをフル活用し、併せてパートナーとともに新たな商品づくり・市場開拓をしながら、われわれしかできない特殊不織布をつくり上げていきたいと切に思う。

不織布業界も他分野と同様、オンリーワンの時代である。さらにオンリーワンの不織布企業同士が、共同で事業運営していく局面もでてくるであろう。この点をANEX2006の開催中に、視野に入れて対応したいと考えている。

ANEX2006は世界3大不織布展の一つであり、アジア地区はもとより、世界各国の不織布に携わる2万人以上の来場が見込まれている。

その2万人のなかから1人でも多くの取組みパートナーを見つけたいと願っている。また本展示会は、われわれの総合力(戦略・方向性・商品・人)を試す絶好の機会でもある。

ANEX2006来場者の方々には、出光ユニテックのブースに是非お立ち寄りいただき、われわれを評価して下さいようお願いしている。



写真2 複合不織布“ストラマイティ®”を用いた炭袋用包材(微粉末対応)



写真3 トリッド不織布の一例

